

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2015年5月7日～2020年5月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの受益証券
	メキシコ株マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のDR（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたETFをいいます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてマザーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# メキシコ株ファンド

## 運用報告書(全体版) 第1期

(決算日 2015年11月17日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「メキシコ株ファンド」は、このたび、第1期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5680>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率					
1 期末 (2015年11月17日)	円 9,781	円 0	% △ 2.2	9,199	% △ 8.0	% 96.9	% —	% —	百万円 165

(注1) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

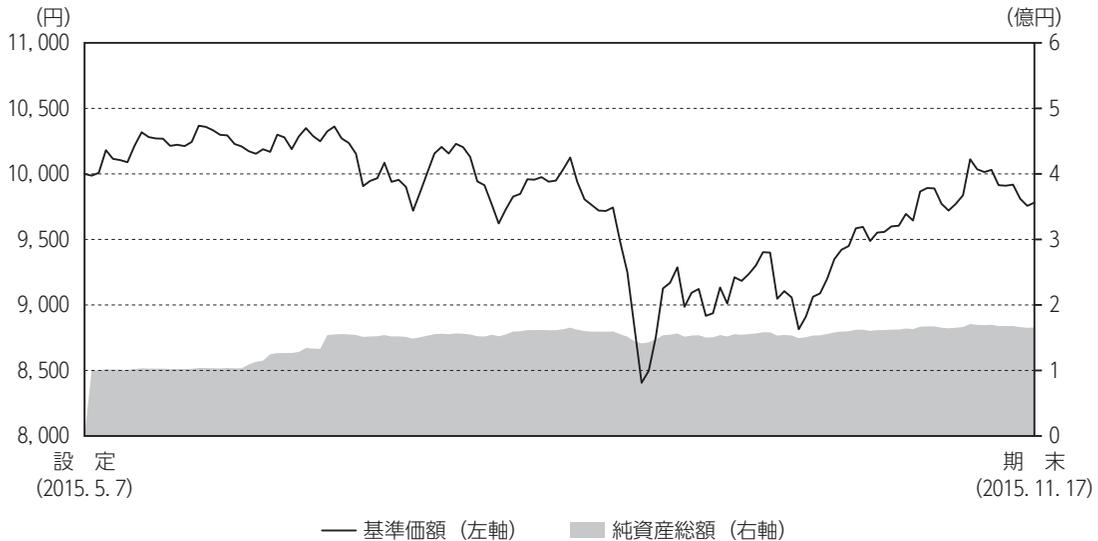
(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



## ■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：9,781円

騰落率：△2.2%

## ■ 基準価額の主な変動要因

メキシコの国内景気は好調を維持しましたが、中国などの新興国に対するリスク回避姿勢の強まりや米国の金融政策への不透明感が悪材料となりました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式は現地通貨建てで上昇したものの、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したことが響き、基準価額は値下がりしました。

# メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(設定) 2015年 5月 7日	10,000	—	10,000	—	—	—	—
5月末	10,359	3.6	10,388	3.9	94.5	—	3.1
6月末	9,907	△ 0.9	10,007	0.1	93.4	—	2.8
7月末	9,847	△ 1.5	9,727	△ 2.7	94.8	—	2.5
8月末	9,169	△ 8.3	8,968	△ 10.3	98.0	—	0.6
9月末	8,911	△ 10.9	8,521	△ 14.8	97.6	—	—
10月末	9,773	△ 2.3	9,324	△ 6.8	98.7	—	—
(期末) 2015年11月17日	9,781	△ 2.2	9,199	△ 8.0	96.9	—	—

(注) 騰落率は設定比。

**投資環境について****○メキシコ株式市況**

設定時から2015年7月にかけては、メキシコ国内の好調な消費を背景に、メキシコ株式市況は堅調な展開となりました。しかし、中国株式の急落に端を発した中国景気に対する懸念の高まりや、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ時期の不透明感が強まったことなどを受け、投資家のリスク回避姿勢が高まり、8月後半にかけて下落しました。その後、市場予想を大きく下回る米国雇用統計によりF R Bの利上げが遠のいたとの見方が強まったことや、好調な推移を続けたメキシコ国内の消費や自動車生産を受けて反発し、期末にかけて上昇しました。メキシコの手小売企業や銀行などが相次いで市場予想を上回る決算を発表したことも好感され、株式市況を押し上げる要因となりました。

**○為替相場**

主要な投資先であるメキシコ・ペソは設定時7円台後半で始まりしました。好調なメキシコ景気を背景に2015年6月にかけて、8円台まで上昇しました。しかし、中国景気先行きへの懸念やF R Bによる利上げ時期の不透明感などを背景に投資家のリスク回避姿勢が高まったため、8月半ばにかけて急速にペソ安が進行し、一時は6円台後半まで下落しました。その後は、メキシコ景気が堅調に推移したことによる安心感の高まりや、市場予想を大きく下回る米国の雇用統計によりF R Bによる早期の利上げ懸念が後退したことなどを背景にペソは緩やかに上昇し、7円台前半で期末を迎えました。

**ポートフォリオについて****○当ファンド**

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率をおおむね95%程度以上としました。

**○メキシコ株マザーファンド**

当期は、株式組入比率を95～98%程度とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。メキシコの景気見通し改善から恩恵を受けると期待される GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）や WALMART DE MEXICO（生活必需品）、格安航空会社の参入による航空旅客需要を取り込んでいる空港運営会社の GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC（資本財・サービス）などを買付けました。一方で、大幅に株価が上昇した銘柄や、金利上昇の悪影響を受ける不動産会社などを売

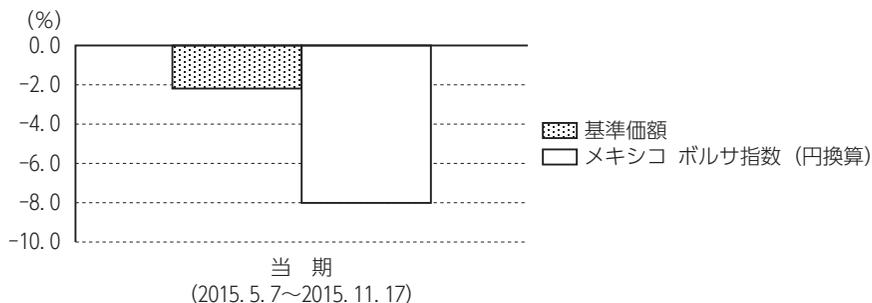
## メキシコ株ファンド

却しました。足元のポートフォリオは、業種では、メディア会社や自動車部品会社を中心とした一般消費財セクターや、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターを高位の組入れとしました。個別銘柄では、衛星放送・ケーブルTV事業の成長が見込まれる GRUPO TELEVISIA（一般消費財・サービス）や、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調な GRUMA（生活必需品）などを高位の組入れとしました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年5月7日 ～2015年11月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ○メキシコ株マザーファンド

短期的には、F R Bによる利上げを控え、メキシコ株式市場が再び不安定な展開に陥る可能性があります。しかし中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が押し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 7~2015. 11. 17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	93円	0. 949%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9, 782円です。</b>
(投信会社)	(45)	(0. 460)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(45)	(0. 460)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0. 029)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	33	0. 338	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(32)	(0. 324)	
(投資信託証券)	(1)	(0. 014)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	48	0. 492	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(46)	(0. 475)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0. 014)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	174	1. 780	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年5月7日から2015年11月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千円	千円	千円	千円
メキシコ株マザーファンド	168,497	168,900	976	900

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年5月7日から2015年11月17日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	279,164千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	142,032千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.96

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

## ■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

設定時保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千円	千円
メキシコ株マザーファンド	167,520	165,208

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年11月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	165,208	99.0
コール・ローン等、その他	1,744	1.0
投資信託財産総額	166,953	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝123.23円、1メキシコ・ペソ＝7.35円です。

(注3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(164,278千円)の投資信託財産総額(165,214千円)に対する比率は、99.4%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	166,953,034円
コール・ローン等	1,744,173
メキシコ株マザーファンド(評価額)	165,208,861
(B) 負債	1,407,349
未払解約金	22,851
未払信託報酬	1,380,418
その他未払費用	4,080
(C) 純資産総額(A-B)	165,545,685
元本	169,254,701
次期繰越損益金	△ 3,709,016
(D) 受益権総口数	169,254,701口
1万口当り基準価額(C/D)	9,781円

\* 設定時における元本額は100,000,000円、当期中における追加設定元本額は69,931,563円、同解約元本額は676,862円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,781円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,709,016円です。

## メキシコ株ファンド

### ■損益の状況

当期 自2015年5月7日 至2015年11月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>182円</b>
受取利息	182
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 2,733,447</b>
売買益	53,733
売買損	△ 2,787,180
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,384,498</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 4,117,763</b>
<b>(E) 追加信託差損益金</b>	<b>408,747</b>
(配当等相当額)	( 35,306)
(売買損益相当額)	( 373,441)
<b>(F) 合計 (D + E)</b>	<b>△ 3,709,016</b>
<b>次期繰越損益金 (F)</b>	<b>△ 3,709,016</b>
追加信託差損益金	408,747
(配当等相当額)	( 35,306)
(売買損益相当額)	( 373,441)
繰越損益金	△ 4,117,763

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：436,796円 (未監査)

### ■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	35,306
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	35,306
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	35,306
(h) 受益権総口数	169,254,701口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# メキシコ株マザーファンド

## 運用報告書 第1期 (決算日 2015年11月17日)

(計算期間 2015年5月7日～2015年11月17日)

メキシコ株マザーファンドの第1期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のDR（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたETFをいいます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

## 大和投資信託

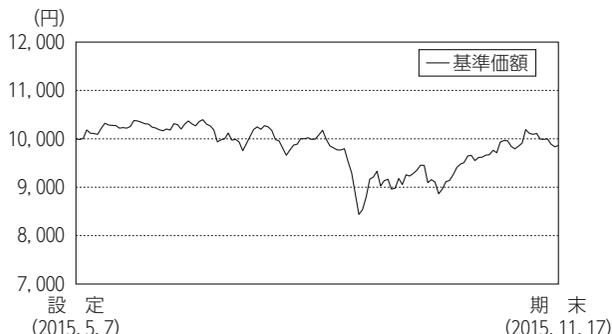
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

# メキシコ株マザーファンド

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 率	株式 先比 率	投資信託 証券 組入比率
	円	%	参考指数	騰落率			
(設定) 2015年5月7日	10,000	—	10,000	—	—	—	—
5月末	10,370	3.7	10,388	3.9	94.4	—	3.1
6月末	9,938	△ 0.6	10,007	0.1	93.6	—	2.8
7月末	9,891	△ 1.1	9,727	△ 2.7	95.1	—	2.5
8月末	9,211	△ 7.9	8,968	△ 10.3	98.2	—	0.6
9月末	8,962	△ 10.4	8,521	△ 14.8	97.8	—	—
10月末	9,846	△ 1.5	9,324	△ 6.8	98.8	—	—
(期末) 2015年11月17日	9,862	△ 1.4	9,199	△ 8.0	97.1	—	—

(注1) 騰落率は設定比。

(注2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：9,862円 騰落率：△1.4%

#### 【基準価額の主な変動要因】

メキシコの国内景気は好調を維持しましたが、中国などの新興国に対するリスク回避姿勢の強まりや米国の金融政策への不透明感が悪材料となりました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式は現地通貨建てで上昇したものの、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したことが響き、基準価額は値下がりしました。

### ◆投資環境について

#### ○メキシコ株式市況

設定時から2015年7月にかけては、メキシコ国内の好調な消費を背景に、メキシコ株式市況は堅調な展開となりました。しかし、中国株式の急落に端を発した中国景気に対する懸念の高まりや、F R B (米連邦準備制度理事会) による利上げ時期の不透明感が強まったことを受け、投資家のリスク回避姿勢が高まり、8月後半にかけて下落しました。その後、市場予想を大きく下回る米国雇用統計によりF R Bの利上げが遠のいたとの見方が強まったことや、好調な推移を続けたメキシコ国内の消費や自動車生産を受けて反発し、期末にかけて上昇しました。メキシコの大手小売企業や銀行などが相次いで市場予想を上回る決算を発表したことも好感され、株式市況を押し上げる要因となりました。

#### ○為替相場

主要な投資先であるメキシコ・ペソは設定時7円台後半で始まり、好調なメキシコ景気を背景に2015年6月にかけて、8円台まで上昇しました。しかし、中国景気先行きへの懸念やF R Bによる利上げ時期の不透明感などを背景に投資家のリスク回避姿勢が高まったため、8月半ばにかけて急速にペソ安が進行し、一時は6円台後半まで下落しました。その後は、メキシコ景気が堅調に推移したことによる安心感の高まりや、市場予想を大きく下回る米国の雇用統計によりF R Bによる早期の利上げ懸念が後退したことなどを背景にペソは緩やかに上昇し、7円台前半で期末を迎えました。

### ◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を95～98%程度とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組合わせにより、ポートフォリオを構築しました。メキシコの景気見通し改善から恩恵を受けると期待される GRUPO FINANCIERO BANORTE (金融) や WALMART DE MEXICO (生活必需品)、格安航空会社の参入による航空旅客需要を取り込んでいる空港運営会社の GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC (資本財・サービス) などを買い付けました。一方で、大幅に株価が上昇した銘柄や、金利上昇の悪影響を受ける不動産会社などを売却しました。足元のポートフォリオは、業種では、メディア会社や自動車部品会社を中心とした一般消費財セクターや、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターを高位の組入れとしました。個別銘柄では、衛星放送・ケーブルTV事業の成長が見込まれる GRUPO TELEVISIA (一般消費財・サービス) や、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調な GRUMA (生活必需品) などを高位の組入れとしました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

参考指数 (メキシコ ボルサ指数 (円換算)) はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

## 《今後の運用方針》

短期的には、F R Bによる利上げを控え、メキシコ株式市場が再び不安定な展開に陥る可能性があるかとみています。しかし中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

## ■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	33円 ( 32) ( 1)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	48 ( 47) ( 1)
合 計	81

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

## (1) 株 式

(2015年 5月 7日から2015年11月17日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	メキシコ	百株 6,979 ( —)	千メキシコ・ペソ 28,613 (△ 21)	百株 2,154.95	千メキシコ・ペソ 7,693

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 投資信託証券

(2015年 5月 7日から2015年11月17日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	メキシコ	千口 22.6 ( —)	千メキシコ・ペソ 656 (△ 7)	千口 22.6 ( —)	千メキシコ・ペソ 617 ( —)

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

## ■ 主要な売買銘柄

## (1) 株 式

(2015年 5月 7日から2015年11月17日まで)

買 付	当 期			売 付	当 期		
	銘 柄	株 数	金 額		銘 柄	株 数	金 額
		千株	千円			千株	千円
			円				円
GRUPO TELEVISIA SAB-SER CPO (メキシコ)	22.3	17,514	785	CORP INMOBILIARIA VESTA SAB (メキシコ)	29.3	5,639	192
CEMEX SAB-CPO (メキシコ)	133.3	15,403	115	INDUSTRIAS BACHOCO-SER B (メキシコ)	9.5	5,397	568
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O (メキシコ)	19.7	13,863	703	CREDITO REAL SAB DE CV SOFOM (メキシコ)	17.1	4,647	271
WALMART DE MEXICO SAB DE CV (メキシコ)	38.9	12,244	314	ARCA CONTINENTAL SAB DE CV (メキシコ)	6.5	4,295	660
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	31.7	12,151	383	GRUPO FINANCIERO INBURSA-O (メキシコ)	15	3,716	247
GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	7.3	11,291	1,546	AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L (メキシコ)	31	3,423	110
GRUPO LALA SAB DE CV (メキシコ)	38	10,171	267	GRUPO LALA SAB DE CV (メキシコ)	11.5	3,399	295
ALFA S. A. B. -A (メキシコ)	37.6	9,653	256	GENTERA SAB DE CV (メキシコ)	16.2	3,364	207
TENEDORA NEMAK SA DE CV (メキシコ)	63	9,606	152	UNIFIN FINANCIERA SAPI DE CV (メキシコ)	10.6	3,229	304
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	10.3	9,409	913	WALMART DE MEXICO SAB DE CV (メキシコ)	10.5	3,110	296

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

# メキシコ株マザーファンド

## (2) 投資信託証券

(2015年5月7日から2015年11月17日まで)

当				期			
買				売			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
CONCENTRADORA FIBRA DANHOS S (メキシコ)	10.6	3,140	296	CONCENTRADORA FIBRA DANHOS S (メキシコ)	10.6	2,671	251
FIBRA SHOP PORTAFOLIOS INMOB (メキシコ)	8	1,123	140	PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIA (メキシコ)	4	937	234
PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIA (メキシコ)	4	971	242	FIBRA SHOP PORTAFOLIOS INMOB (メキシコ)	8	900	112

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### 外国株式

銘柄	株数	期		業種等
		末		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ)	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	94	792	5,828	資本財・サービス
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA	65	583	4,287	金融
UNIFIN FINANCIERA SAPI DE CV	176	946	6,955	金融
RASSINI SAB DE CV	160	1,002	7,365	一般消費財・サービス
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	114	706	5,189	一般消費財・サービス
TENEDORA NEMAK SA DE CV	510	1,182	8,692	一般消費財・サービス
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B	103	1,592	11,703	資本財・サービス
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	164	219	1,615	電気通信サービス
GRUPO TELEVISA SAB-SER CPO	200.05	1,861	13,683	一般消費財・サービス
CEMEX SAB-CPO	1,133	1,059	7,786	素材
GRUMA S. A. B. -B	63	1,621	11,918	生活必需品
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	75	1,205	8,862	生活必需品
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA	140	365	2,683	金融
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N	90	672	4,940	公益事業
GRUPO LALA SAB DE CV	265	1,112	8,176	生活必需品
GRUPO AEROPORT DEL SURESTE-B	9	233	1,712	資本財・サービス
ALSEA SAB DE CV	96	537	3,949	一般消費財・サービス
KIMBERLY-CLARK DE MEXICO-A	170	697	5,125	生活必需品
ALFA S. A. B. -A	376	1,269	9,332	資本財・サービス
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	247	940	6,913	素材
GRUPO FINANCIERO INBURSA-O	120	391	2,877	金融
WALMART DE MEXICO SAB DE CV	284	1,306	9,599	生活必需品
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	170	1,527	11,229	金融
ファンド合計	株数、金額	4,824.05	21,827	160,430
	銘柄数<比率>	23銘柄	<97.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年11月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	160,430 千円	97.1 %
コール・ローン等、その他	4,783	2.9
投資信託財産総額	165,214	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝123.23円、1メキシコ・ペソ＝7.35円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(164,278千円)の投資信託財産総額(165,214千円)に対する比率は、99.4%です。

## ■損益の状況

当期 自2015年5月7日 至2015年11月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,242,017円
受取配当金	1,241,171
受取利息	846
(B) 有価証券売買損益	△ 3,293,115
売買益	17,450,984
売買損	△ 20,744,099
(C) その他費用	△ 734,868
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 2,785,966
(E) 解約差損益金	76,417
(F) 追加信託差損益金	402,937
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,306,612
次期繰越損益金 (G)	△ 2,306,612

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	165,214,034円
コール・ローン等	4,783,928
株式 (評価額)	160,430,106
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	165,214,034
元本	167,520,646
次期繰越損益金	△ 2,306,612
(D) 受益権総口数	167,520,646口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,862円

\* 設定時における元本額は100,000,000円、当期中における追加設定元本額は68,497,063円、同解約元本額は976,417円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド167,520,646円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,862円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,306,612円です。